

# V1-X

DAW コントローラーの未来はここにあります！  
**延びろ、革命！**

美しくデザインされたメーターブリッジ、8つの12ビットフェーダー、8つの smooth action ロータリーエンコーダ、2インチ TFT ディスプレイ、追加の led ディスプレイ、32 個の照明付きボタンを備えた V1-X を紹介します。

V1-X と V1-M を組み合わせて、世界で最も先進的なレコーディングシステムの1つである 16 以上のチャンネルをお楽しみください。





## 警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

### 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

### 故障したら使わない

本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのにお気付きの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理をご依頼ください。

### 万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理を依頼する

変な音・  
においがしたら、  
煙が出たら



### 警告表示の意

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じることがあります



## 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す  
記号



指み



行為を禁止  
する記号



禁止  
禁止



接  
禁止

行為を指示  
する記号

プラグを  
コンセントから抜く



強制



## 警告



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの となります。

### 分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていないので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

# 内容

はじめに.....	4
付属品をご確認ください?.....	4
ICON Pro オーディオ製品を個人アカウントに登録します.....	5
機能 Pt. 1.....	6
機能 Pt. 2.....	7
トップパネルのレイアウト図.....	8
トップパネルのレイアウト(続き).....	9
背面パネルのレイアウト.....	11
V1-X 入門.....	12
日常で V1-X を推しだします.....	15
Ableton Live.....	16
Audition.....	17
Bitwig.....	18
Cakewalk.....	19
Cubase/Nuendo.....	20
Digital Performer 11.....	21
FL Studio.....	22
Logic Pro.....	23
Luna.....	24
Mixbus 32C.....	25
Pro Tools.....	26
Reaper.....	27
Reason.....	29
Samplitude.....	31
Studio One.....	32
Tracktion Waveform.....	33
Mac 用 iMap™ のインストール.....	34
Windows で iMap™ ソフトウェアをインストールする.....	35
iMAP™.....	37
iMap™ のその他の機能.....	39
ファームウェアアップグレード.....	40
ハードウェアの接続.....	43
さらなる拡張.....	44
V1-X 拡張器の取り付け.....	45
製品仕様.....	46
修理について.....	47

# はじめに

まず、V1-M MIDi DAW コントローラー用の icon pro audio v1-x エクステンダーをお買い上げ頂き、ありがとうございます。まず、ICON Pro Audio V1-M MIDi DAW コントローラのご購入おめでとうございます！これらのページでは、P1-Nano 機能の詳細な説明と完全な仕様リストを見つけることができます

次のリンクのサイトから製品を登録してください：

[my.iconproaudio.com/registration](http://my.iconproaudio.com/registration):

他の電子製品と同様、本製品につきましてもご購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万一修理のため本製品を弊社に返送していただく場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

## 付属品をご確認ください

- V1-X 拡張ユニット
- Quick Start Guide x 1
- USB C ケーブル x 1
- コネクタプラグ x 2



# お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください

## 1. お使いのデバイスのシリアル番号を確認してください

[my.iconproaudio.com/registration](https://my.iconproaudio.com/registration) に進むか、下の QR コードをスキャンします。



画面に、お使いのデバイスのシリアル番号など、請求された情報を入力します。「Submit」をクリックします。

形式番号やシリアル番号などのデバイス情報を表示したポップアップウィンドウが現れます。「Register this device to my account」をクリックします。別のメッセージが表示された場合はアフターセールスサービスチームまでご連絡ください。

## 2. 既存ユーザーの方は、ご自分の個人アカウントページにログインします。未登録の方は新規ユーザーとして登録してください。

既存ユーザーの場合：ユーザー名とパスワードを記入して、個人ユーザーページにログインしてください。

新規ユーザーの場合：「Sign Up」をクリックして、情報をすべて記入してください。

## 3. 役に立つ資料をダウンロードする

このページのアカウントに、登録済みデバイスがすべて表示されます。製品ごとにドライバ、ファームウェア、各言語版のユーザーマニュアル、バンドルされたソフトウェアなどが表示されるので、これらをダウンロードすることができます。

# 機能 Pt. 1

MiDi DAW コントローラー V1-M で、MiDi DAW コントローラーの世界が変わりました。

施設の規模や範囲にかかわらず、この優れていて美しいマシンは世界中のスタジオ運営の中心に入っていきます。フルスケールの最先端のプロスタジオにも同様に適していて、プロジェクトスタジオのオーナーにとってもそうですが、これほどの能力、コストパフォーマンス、拡張性を備えた DAW コントローラーはこれまでありませんでした。これはまさに DAW コントローラーの世界における革命です。

8 つの新しいチャンネルを搭載した v1-x 拡張ユニットを使用することで、V1-M システムのチャンネル数を増やすことができます。

V1-X は、美しくデザインされたフェーダーキャップを備えた 8 つのタッチセンシティブ、12 ビットの電動フェーダーを備え、人間工学的に指にフィットするように設計されており、より快適なミキシング体験を提供します。

印象的なモダンなメーターブリッジは、8 つの明るくクリアで正確な 12 セグメント led メーターと、チャンネル名、トラック値、チャンネルカラー (DAW 依存) を表示する超クリア TFT ディスプレイを備えています。

より低い 1.4 インチ TFT ディスプレイは、これを中継できる DAW のための追加情報を表示します。

V1-X には、8 つのエンコーダーと 32 のボタン (rec、solo、mute、sel) が装備されています。

V1-M と同様に、v1-x には超安定性のある cortex-m7 @500 mhz arm チップが搭載されています。これにより、マシンは今後何年にもわたって革新的な機能を提供し、信頼性と耐久性を保証します。

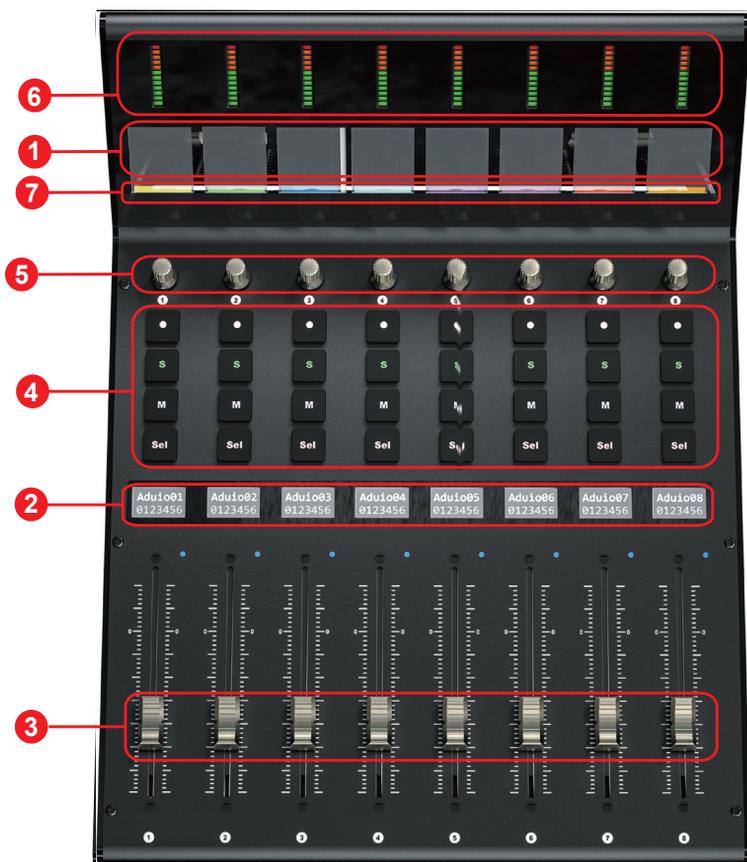
とても先進的でユーザーにフレンドリーな iMAPTM ソフトウェアは、v1-x と V1-M をサポートしています。各セッションの開始時に起動するだけで、「ロック」などのコマンドがメインユニットだけでなく、v1-x 拡張器にも適用されることを確認できます。これは、iMAP がハードウェアとコンピュータの間のブリッジとして機能する巧妙な方法のためです。心配する他のソフトウェアがないので、遅れはありません - 通信は超高速であり、変更はすぐに影響を受けます。

唯一の問題は、あなたの V1-M にどれだけの v1-x を追加するかです！

## 機能 Pt.2

- iCON pro オーディオ V1-M MIDI DAW コントローラの拡張器として機能します
- 12 ビットの解像度を持つマスターチャンネル用 8 タッチセンス付きモータライズフェーダー
- 非常にコンパクト、頑丈、かつ多目的。
- チャンネル名、制御値、チャンネルカラーなどを表示するオンボード 2 インチ TFT ディスプレイ (DAW に依存))
- 魅力的でモダンなメーターブリッジ、正確・明確で目を引く led メーターを搭載しています。
- 各チャンネルに 1.14 インチ TFT 表示を追加 (一部 DAW はこの画面に追加情報を表示するために装備されています)。
- デュアル機能エンコーダーつまみ (入力して回す) 8 個
- ミュート、ソロ、録音などのチャンネルコントロール用の照光ボタン。
- 互換性のある音楽制作ソフトウェアとシームレスに統合するためのユニバーサル Mackie Control および HUI プロトコルをサポート。
- サポート Ability, Audition, Ableton Live, Bitwig, Cakewalk, Cubase/Nuendo, Digital Performer, FL Studio, Mixbus 32C, Pro Tools, Logic Pro, Luna, Reaper, Reason, Samplitude, Studio One and Tracktion Waveform。
- iMap™ M ソフトウェアを含む。
- 高速 USB C 対応。
- USB C 接続と iMap ソフトウェアで簡単にファームウェア・アップグレードが可能。
- 製造品質に優れた、Kensington ロックポート搭載の堅牢なメタルケーシング。
- cortex-m7 @500 mhz arm チップによる優れた信頼性。

# 上面パネルレイアウト



# 上面パネルレイアウト ( 続き )

**注意：** V1-X は、ユニバーサル DAW コントローラ ( すなわち、特定の DAW 向けに設計されたものではない ) であります。

DAW 間で機能の動作が若干異なります。各機能については DAW マニュアルをご参照ください。

## 1. TFT ディスプレイ

広々とした 2 インチ TFT オンボードディスプレイには、調整するとパラメーター値が表示され、チャンネル選択、動作モード、PAN 値などについてのフィードバックも提供されます。ディスプレイは、DAW チャンネルのカラーモードを反映することもできます。表示される情報は DAW によって異なります。

## 2. 下のオンボードディスプレイ

第 2 TFT 1.14 インチディスプレイは 8 つの窓口があり、第 2 のディスプレイを介して情報を通信するために装備された DAW に適しています。

## 3. 8 チャンネル減衰器

8 つの電動フェーダーは、一般的に DAW のトラックボリュームを制御するために使用されます。DAW によっては、" flip " ボタンを使用して、ロータリーエンコーダーとフェーダー機能を交換することができます。これは、ロータリーエンコーダを使用して一般的に実行されるパンやプラグインのパラメーター値を非常に複雑に動かす場合に便利です。12 ビットの解像度のフェーダーは、非常に細かい動きが可能です。

プロジェクトに録音されたオートメーションはすべて、フェーダー位置に反映されます。フェーダーで行われたパラメーターの調整は、上部の TFT ディスプレイの真上に表示されます。すべてのフェーダーはタッチセンシティブで、ユーザーはフェーダーにタッチした瞬間にオートメーションをオーバーライドできます。

#### 4. 録音チャンネルコントロールボタンセクション

**REC (録音) ボタン** - 対応するチャンネルの録音状態をオンオフします。チャンネルが録音状態になると、スイッチが赤く点灯します。

**SOLO (ソロ) ボタン** - 対応するチャンネルのソロ状態をオンオフします。チャンネルのソロ状態がオンになると、スイッチが緑色に点灯し、それ以外のチャンネルがミュートされます。

**MUTE (ミュート) ボタン** - 対応するチャンネルのミュート状態をオンオフします。チャンネルがミュート状態になると、スイッチが青く点灯します。青く点灯したチャンネルがミュートされます。

**SEL (選択) ボタン** - チャンネルを選択するために使用されます。

#### 5. デュアル機能エンコーダー

8つの平穩、無声、デュアル機能を備えたエンコーダーは、プッシュボタンとロータリーコントロールとして機能します。エンコーダーを押すと、動作モードを変更できます。エンコーダーを回転させると、割り当てられた機能に応じて、チャンネルのパン、センドレベル、プラグインパラメーターを調整できます (DAW ソフトウェアが許す限り)。ノブの押すアクションは DAW 内の操作モードを変更するために使用でき (これは DAW に依存します)、ノブの回転アクションは PAN、EQ、プラグインの値などのパラメーターを変更するために使用できます。

#### 6.) チャンネルレベルメーターリング (モノ)

12個の LED が関連チャンネルのレベルを表示します。

#### 7. カラーディスプレイ

DAW チャンネルのカラーモードを示す下の「bar」ディスプレイ。これは、特定の色に基づいて楽器のトラックをグループ化する場合に便利です。例えば、ギタートラックを紫色に、ドラムトラックを黄色にするなど。

\*o 現時点では、少数の DAW のみがこれをサポートしています。

# 背面パネルのレイアウト



## 1.USB C ポート

お使いのコンピュータと互換性のあるソフトウェアへの MIDI ポートとして機能します。

## 2.12 v /2.5 a 電源アダプタポート

付属の電源アダプタを接続します。

(注意: 付属の電源アダプタを接続しないと、V1-X は動作しません。コンピュータからの usb バスは電源不足になる)。

# V1-M 入門



## 1. USB ポートを介して P1-Nano を Mac/PC に接続します。

Mac/PC で USB ポートを選択し、USB C ケーブルを挿入します。ケーブルのもう一方の端を V1-M に接続します。開けて！ Mac/PC は新しいハードウェアを自動的に「検出」する必要があります。

## 2. 接続する 3 つの DAW を設定します。

すでに V1-M iMAP に 3 つの DAW を割り当て、V1-M の 3 つの DAW ボタンに割り当てていることとなります (V1-M マニュアルの iMAP セクションを参照してください)。

V1-M マニュアルでサンプルとして使用されている DAW は以下の通りです；

DAW #1	Bitwig
DAW #2	Cubase
DAW #3	Logic

わかりやすくするために、以下のページでこれらの例を使用して、DAW を v1-x に設定する方法を示します。

まず 1 つはつきりさせておきましょう；

V1-X に DAW を割り当てる必要がありません。どちらが DAW #1 で、どちらが DAW #2 なのかを機械自分で認識しています。なぜなら、V1-M ではすでに設定済みで、v1-x に伝達されています。V1-M/x システムを使用するときは、V1-M が v1-x と通信できるように、常に iMAP をオンにしてください。

あとは、DAW プログラムが v1-x と V1-M が通信しようとしていることを知っていることを確認できたらいいです。

どのように操作するか読み続けてください。

**最初に開いたとき**

4 番目のロータリーエンコーダを押すことで V1-M V1-X をオンにする。

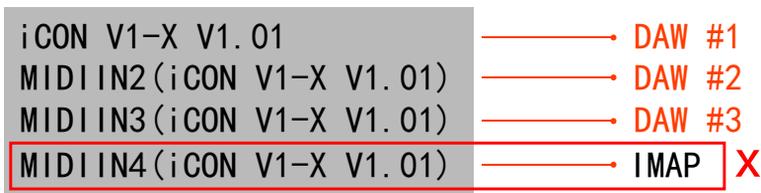
システムを選択します。

上の該当ボタンを押す画面下部選択したいシステムへ。

## Setting up the V1-X in the DAW

V1-M iMAP 内に3つの DAW を割り当てているため、v1-x がそれらを認識し、DAW /s が V1-M とともに v1-x を認識するように設定する必要があります。これは、V1-M と同じ方法で行われます。DAW によっては、v1-x を 'mackie control' の別のインスタンスとして追加したり、v1-x を 'mackie extender' として追加する必要があるかもしれません。ご不明な点がございましたら、ご使用 DAW メーカーのマニュアルをご参照ください。

これが v1-x 拡張器を追加する基本原理です；



注意：MIDI ポート 4 は、iCON Pro オーディオソフトウェア iMAP™ で使用され、使用する 3 つの DAW の変更、ファームウェアの更新、および 24 トを使用してデバイスに接続することはできません。

4 つのオプションがメニューとして表示され、DAW の設定時に選択した DAW を選択できます。

ですから、私たちの事例を思い出しつつ；

<b>DAW #1</b>	<b>Bitwig</b>
<b>DAW #2</b>	<b>Cubase</b>
<b>DAW #3</b>	<b>Logic</b>

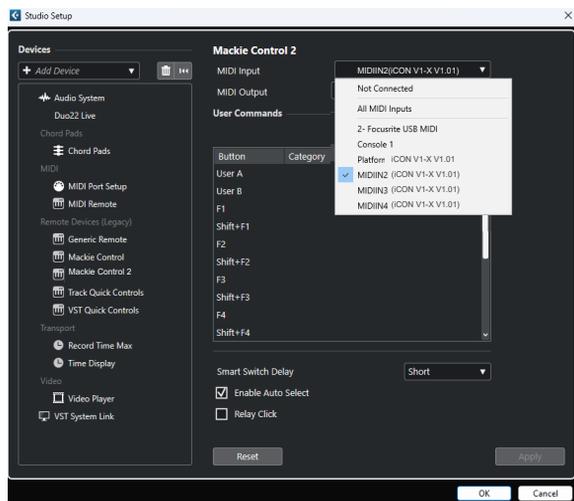
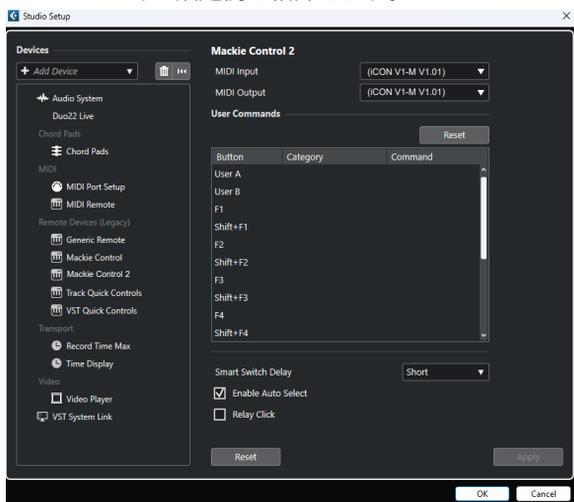
ビットウィッグで「V1-M V1.01」（またはそのファームウェアのバージョン\*）を、bitwig ではそれが DAW なので、V1-M では DAW #1 を選択しました。V1-M ユニットの DAW #1 を押すと、V1-M と V1-X が自動的に bitwig モードになります。.

例では、キューベースは 2 番目の DAW であるため、V1-X で動作するように DAW を設定する場合は、メニューで「MIDI IN 2 (V1-X V 1.01) またはファームウェアバージョンのどちらか\*）」を選択する必要があります。キューベースで V1-X を Mackie コントロールデバイスとして設定している場合、DAW コントローラー選択部で「2」を押すと、V1-M が自動的にキューベースを選択します。

logic でも同様ですが、今回は「MIDI IN 3 (v1-x v 1.01)」（またはファームウェアのバージョンが\*のいずれか）を選択して、この DAW を自動的に選択します。

\* ファームウェアのバージョンは、時間の経過とともに更新されます

ここでは、キューベースでの設定例を紹介します。



ご覧のように、デバイスを Mackie コントローラとして設定する場合、4つの選択肢があります。

Cubase は V 1-M 上の DAW 制御ボタン「2」に応答するように設定されているので、V 1-X を接続する際には「MIDIIN 2 (V 1-X V 1.01)」を選択します。

Cubase は V 1-M 上の DAW 制御ボタン「2」に応答するように設定されているので、V 1-X を接続する際には「MIDIIN 2 (V 1-X V 1.01)」を選択します。

使用しているサポートされている DAW に関係なく、原理はほぼ同じです。

## 日常で V1-X を推しだします

V1-M と v1-x 拡張ユニットを使用するたびに、まずコントローラを起動し、次に iMAP を起動し、DAW を起動してください。

iMAP はハードウェアのみに直接通信し、他のソフトウェアとは通信しません。

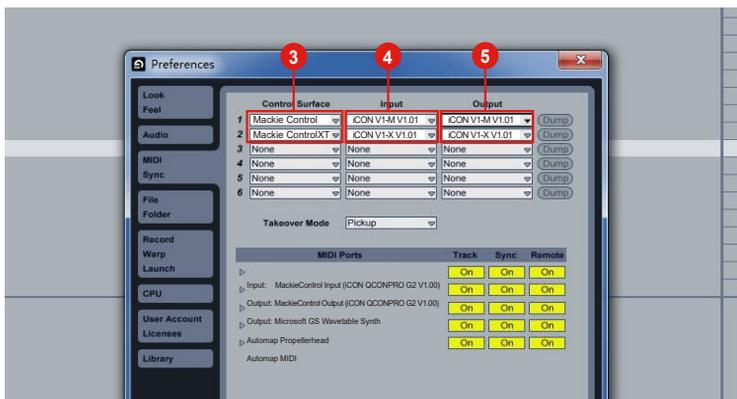
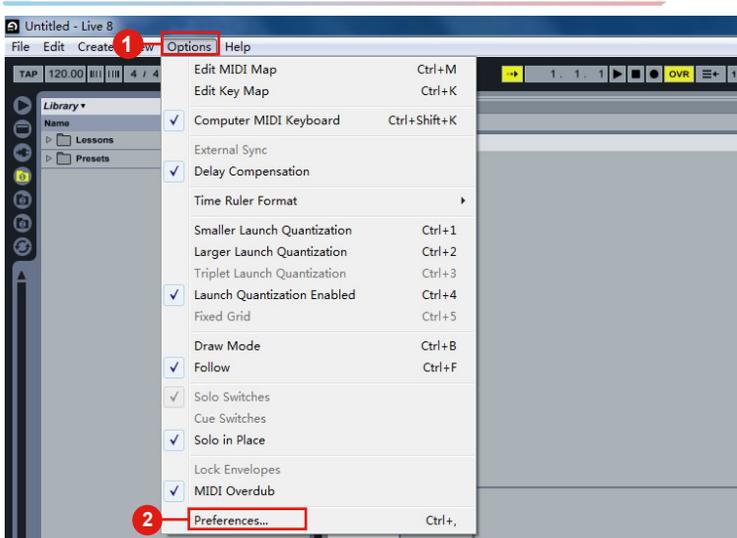
iMAP は、V1-M 本体と v1-x 拡張器との間の一種の「ブリッジ」として機能し、一貫性を確保します。「ロック」機能は、例えば v1-x 拡張器ユニットと組み合わせて使用すると、期待どおりに機能します。iMAP が接続されていない場合は接続されません。

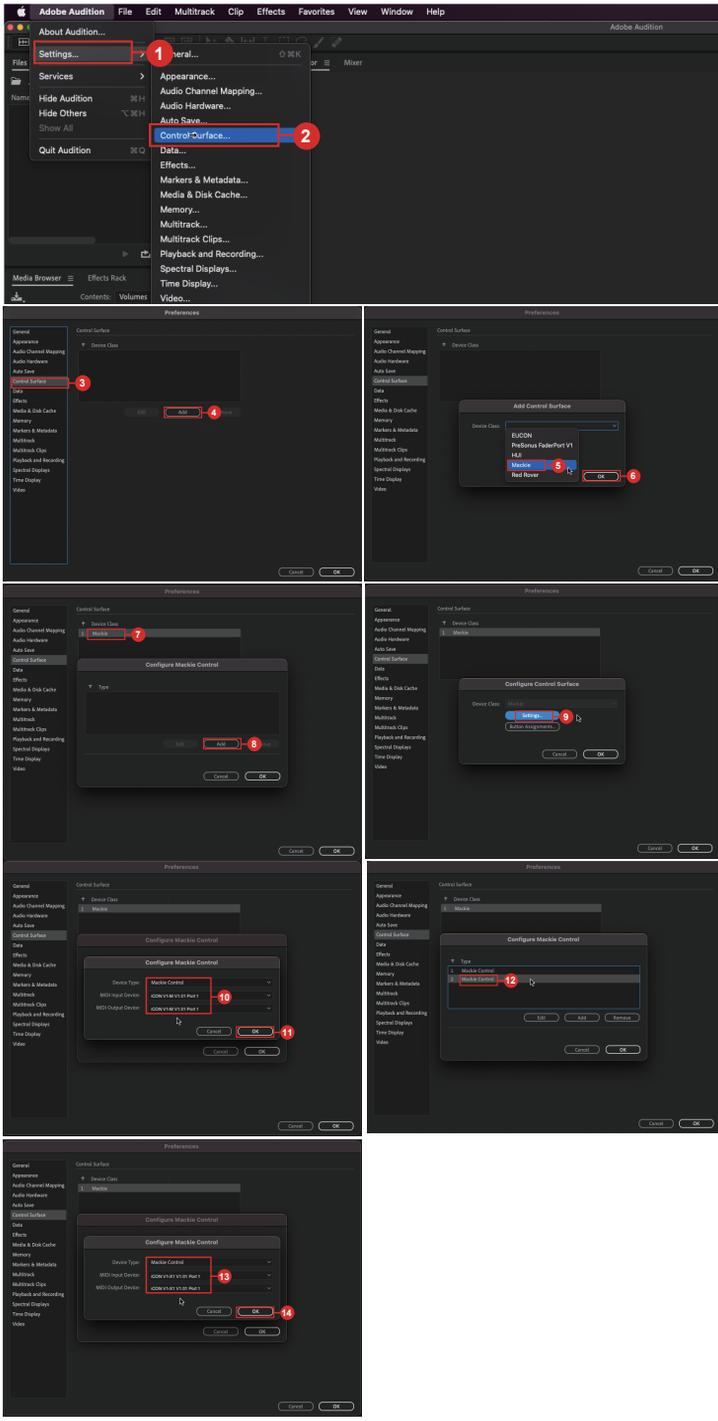
もちろん、関数のプログラミングで変更を加える場合は、iMAP を V1-M ハードウェアと同時に実行する必要があります。

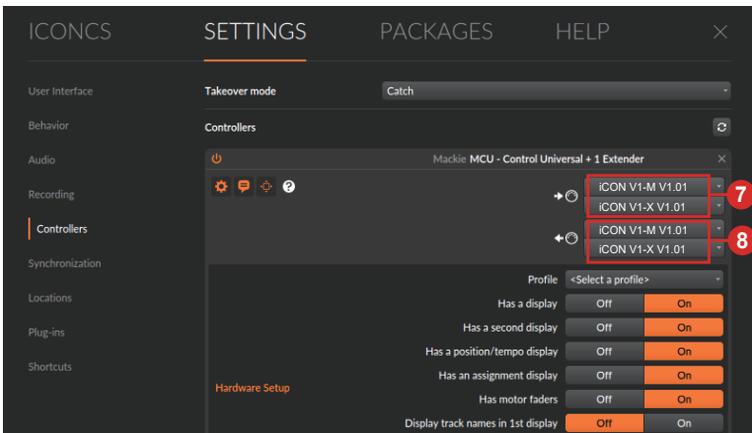
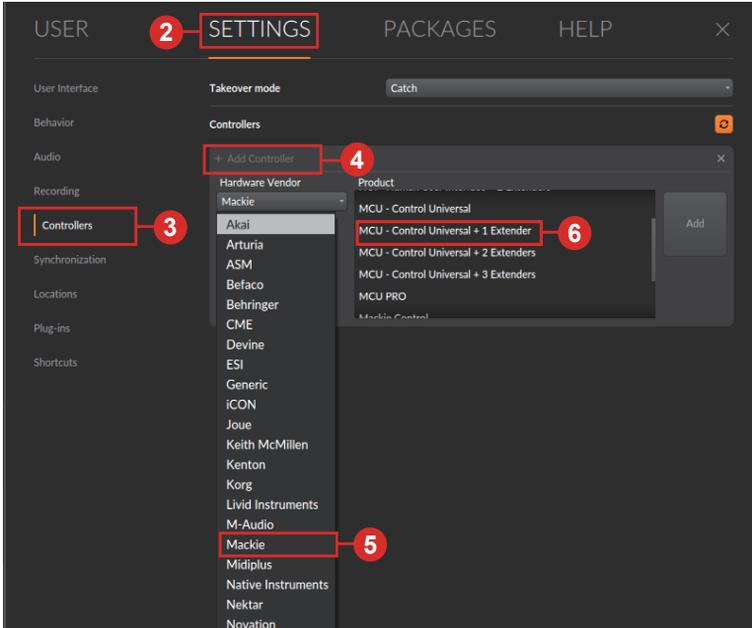
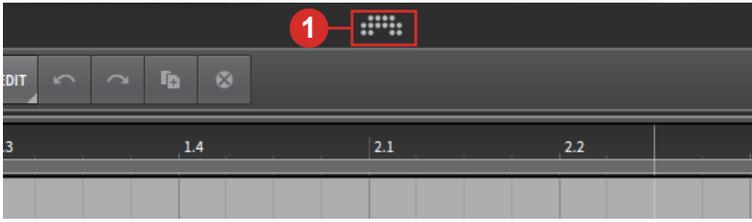
最後に、Controller、iMAP、DAW のシーケンスを使用する理由は、icon pro オーディオソフトウェア iMAPTM が MIDI ポート 4 を使用して、使用する 3 つの DAW の変更、ファームウェアの更新、V1-M の 24 パネルタッチスクリーンのプログラムを選択した機能で行うためです。このポートを使ってデバイスを接続することはできません。

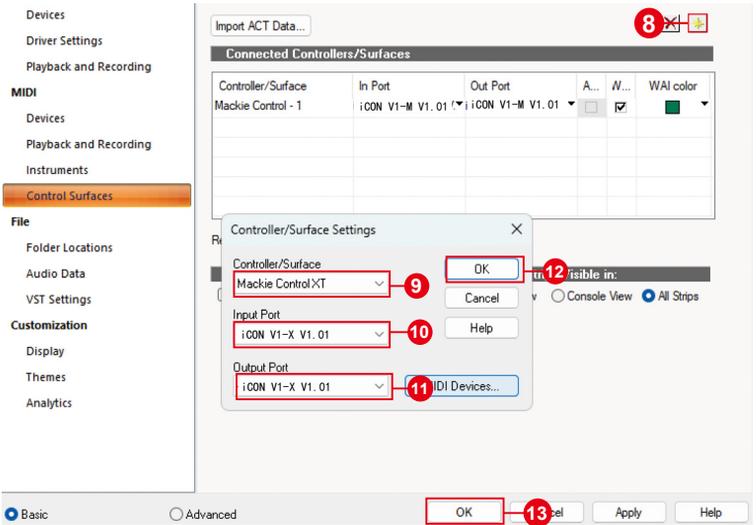
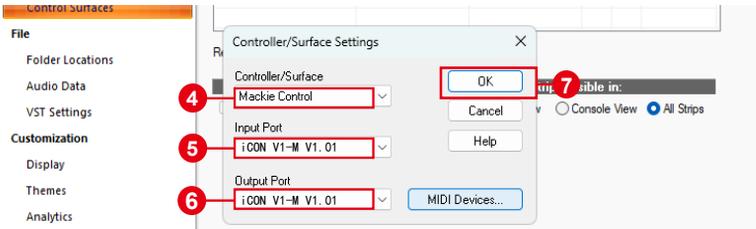
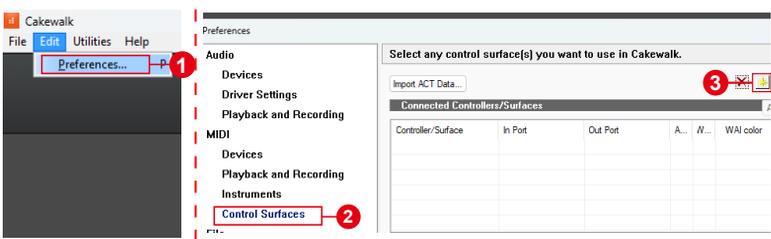
残念ながら、一部の DAW は起動時に自動的にポート 4 を占有しようとするため、iMAP が正常に機能しなくなります。そのため、iMAP を最初にオンにして、その MIDI ポートを使用していることを確認する必要があります。



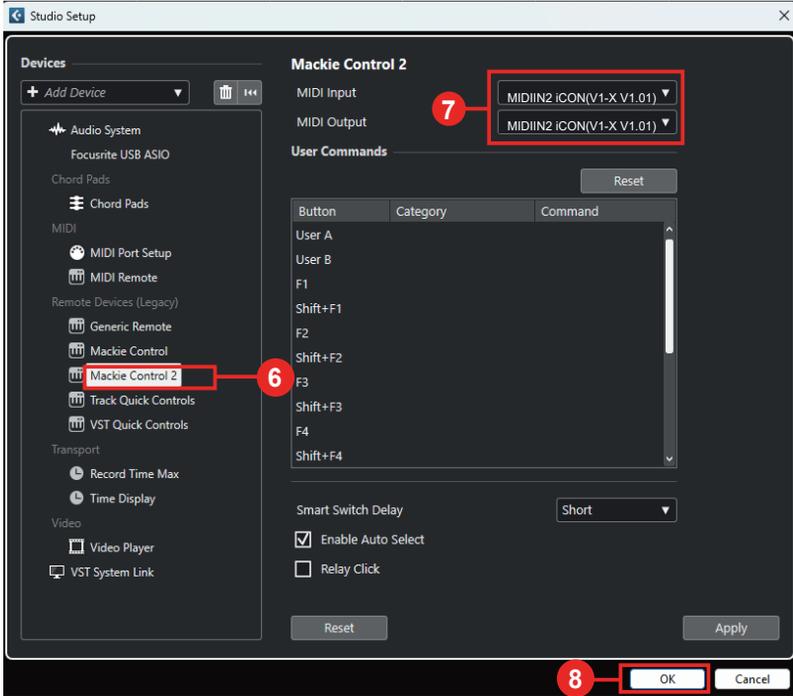
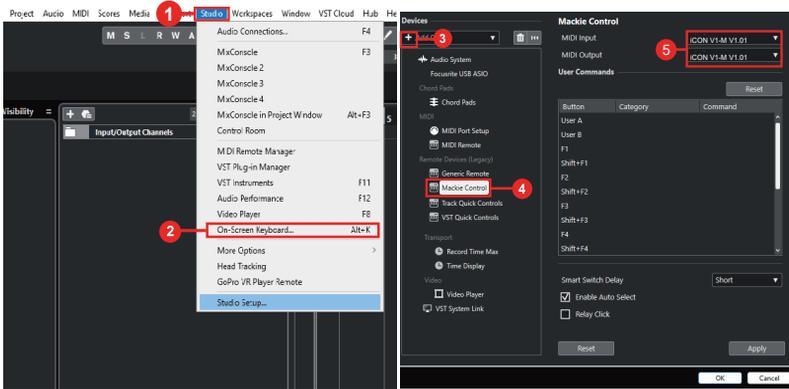




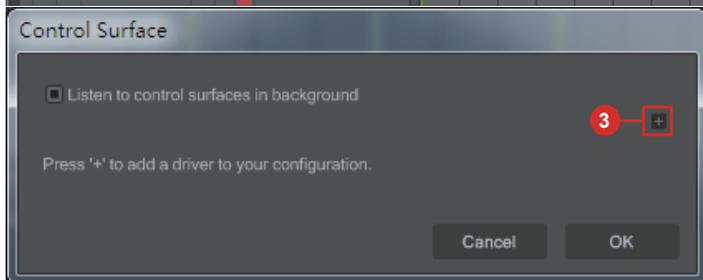
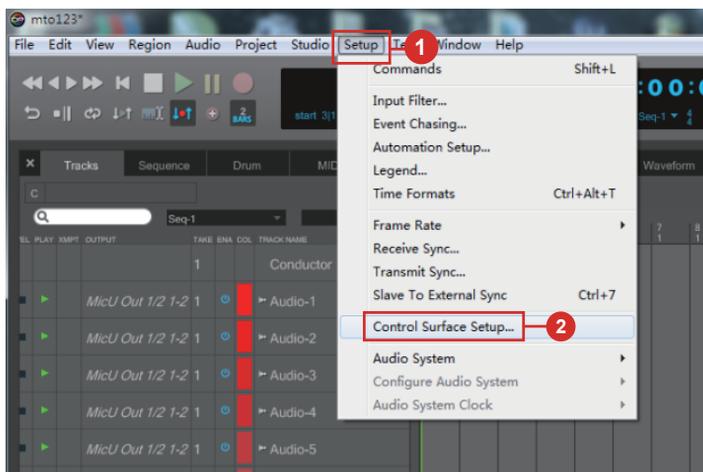




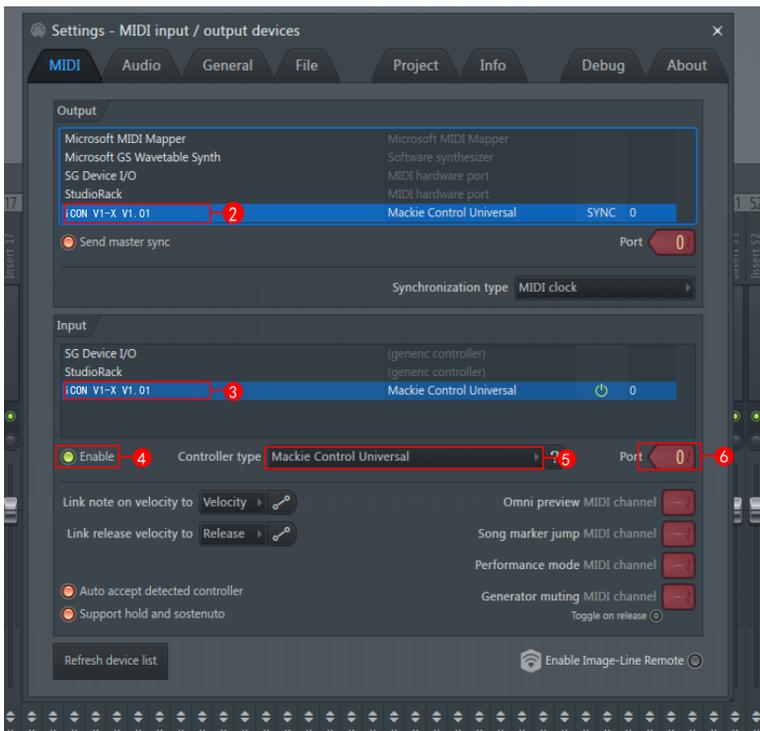
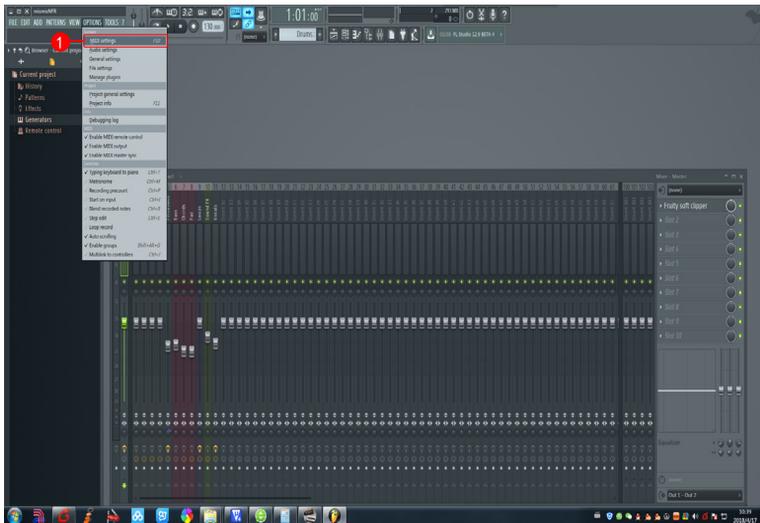
# Cubase/Nuendo



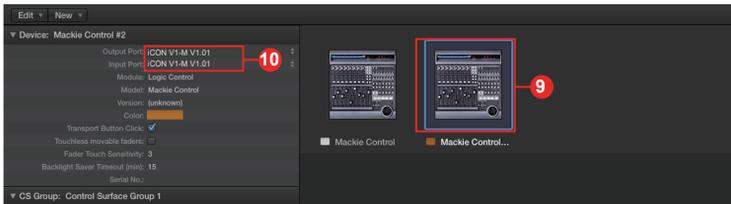
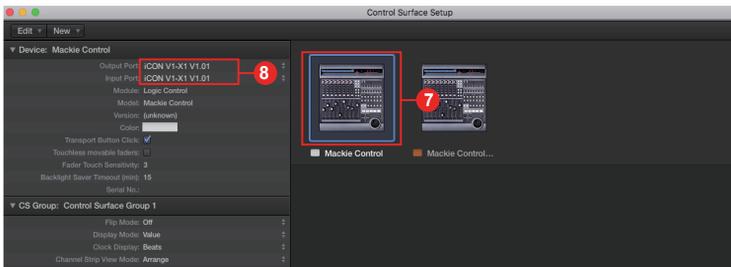
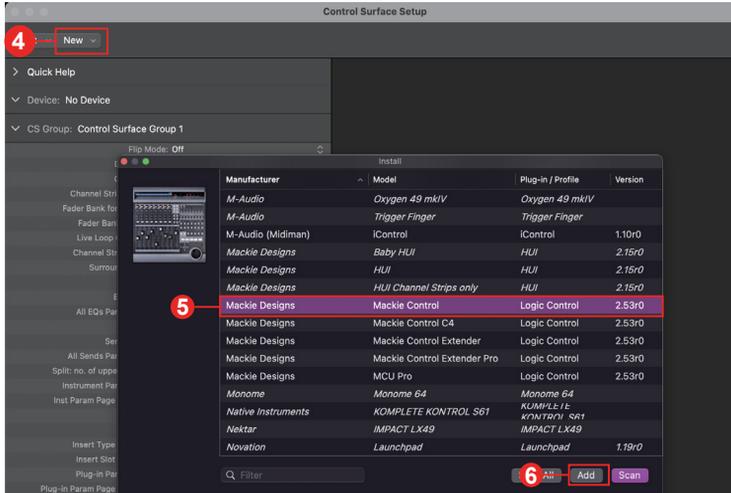
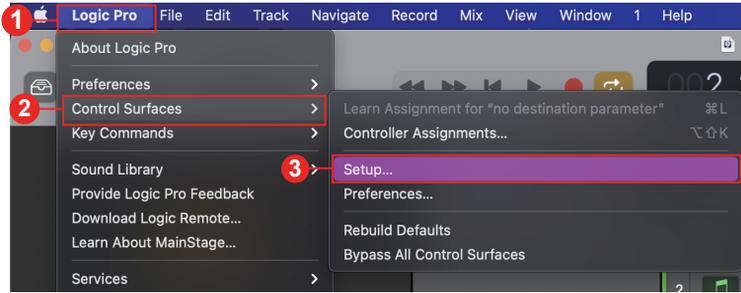
# Digital Performer 11

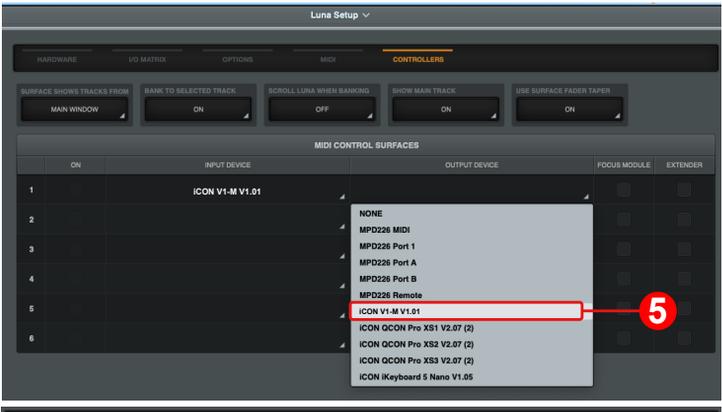
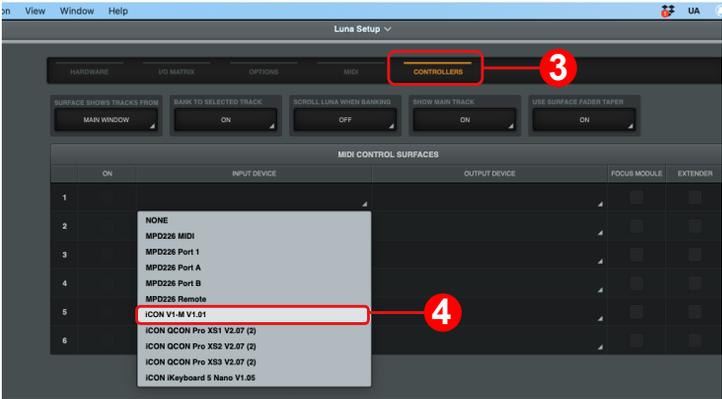
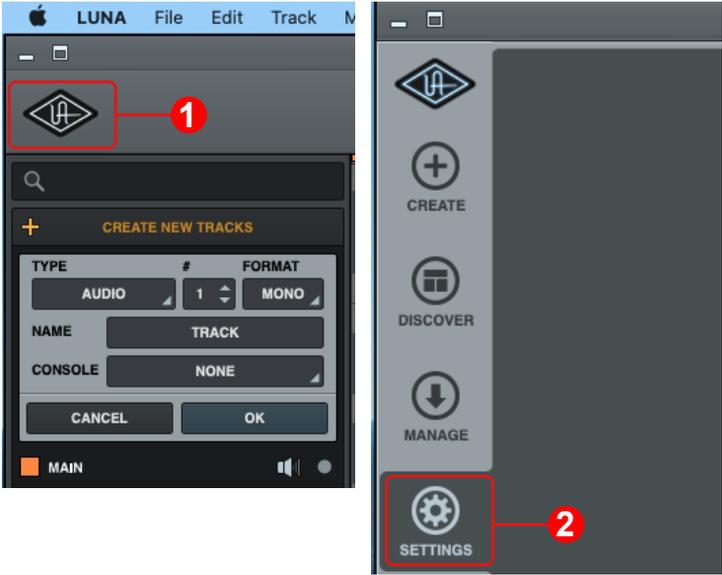


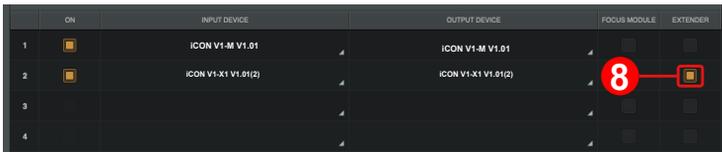
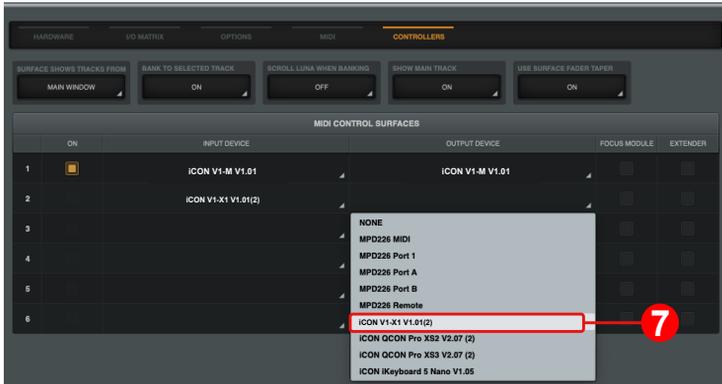
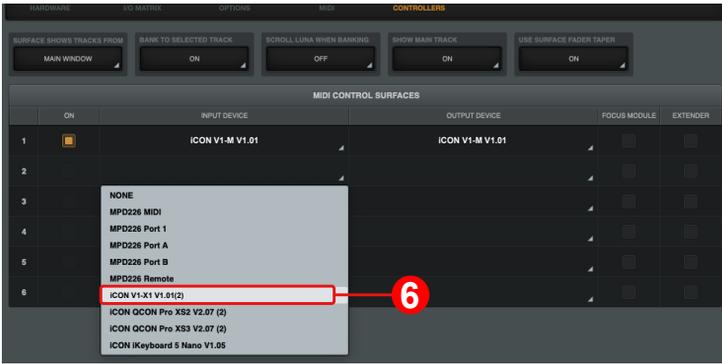
# FL Studio



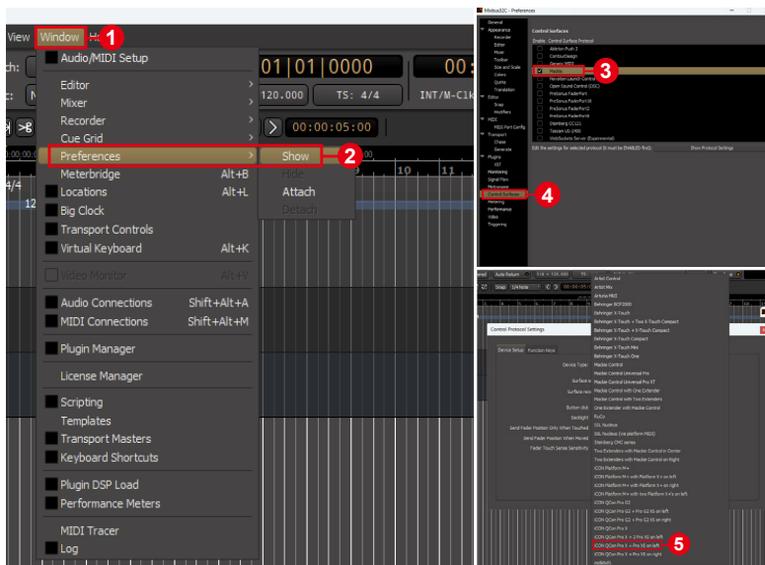
# Logic Pro



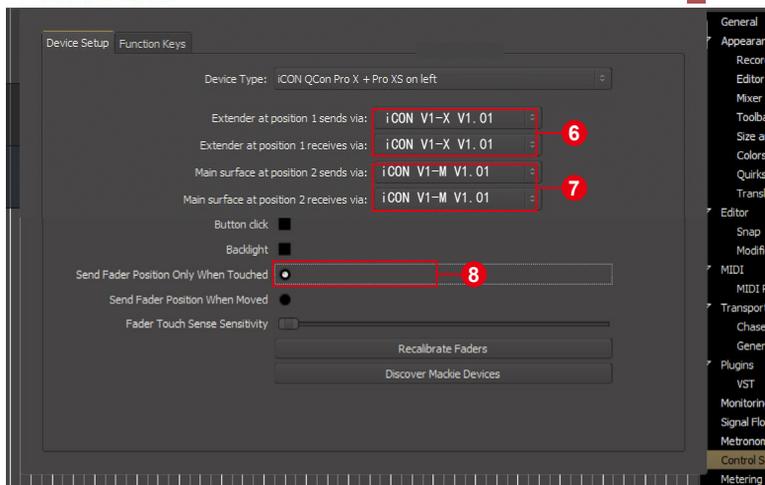


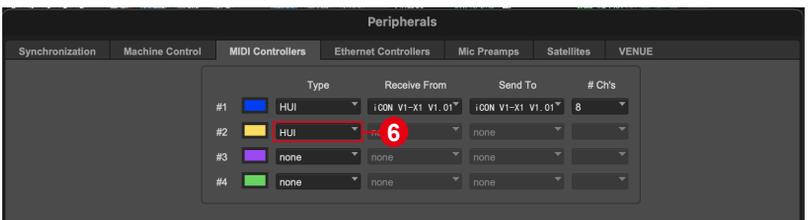
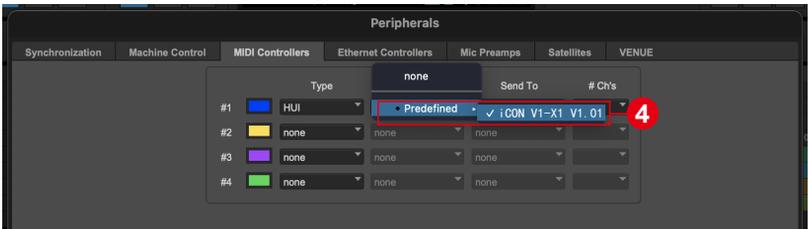
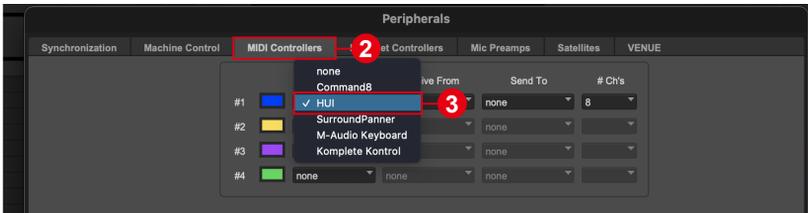
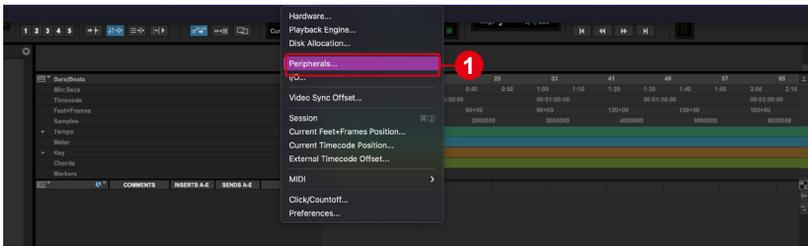


# Mixbus 32C

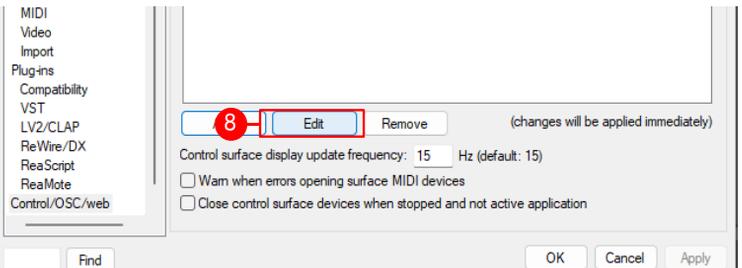
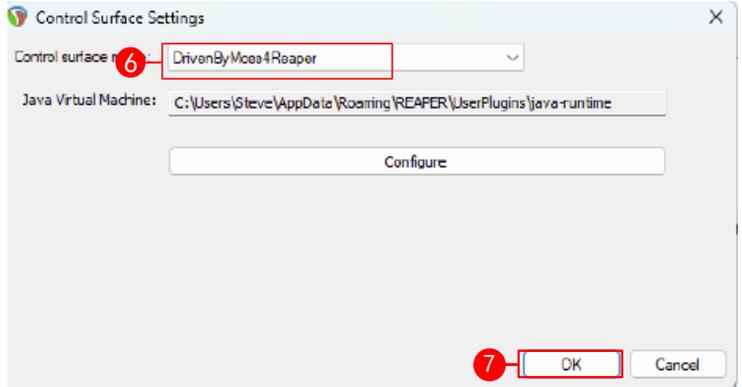
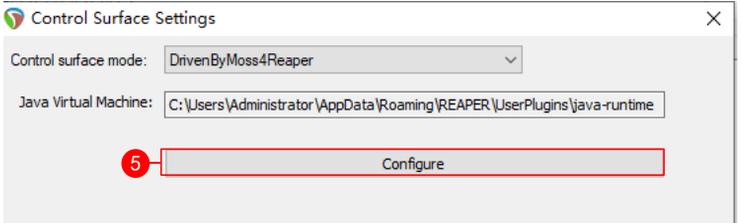
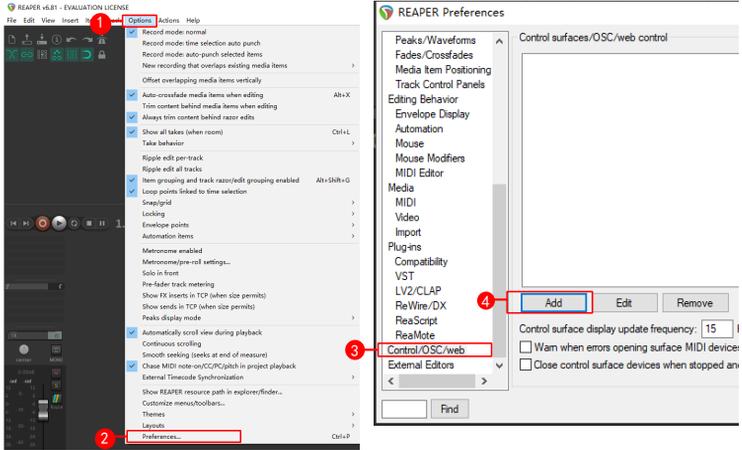


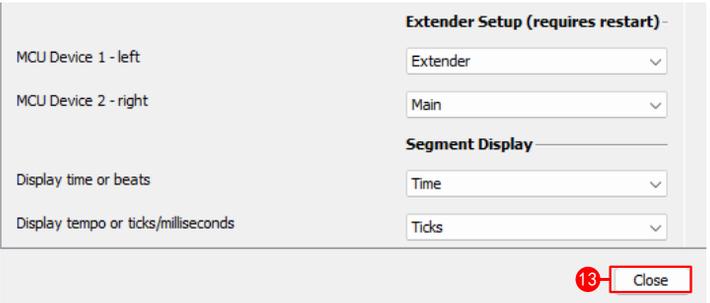
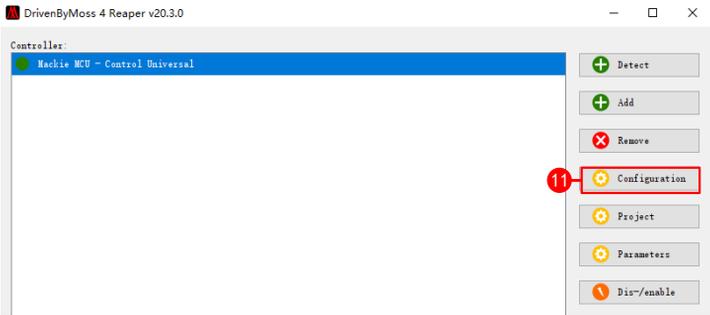
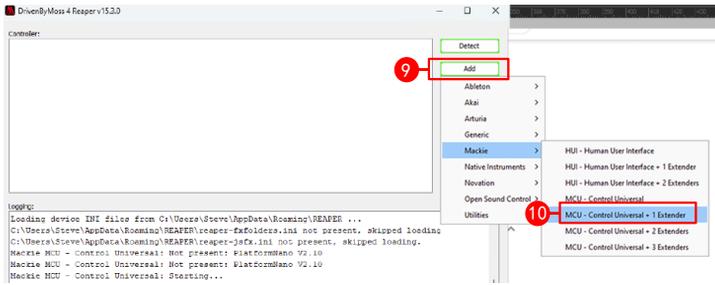
Control Protocol Settings



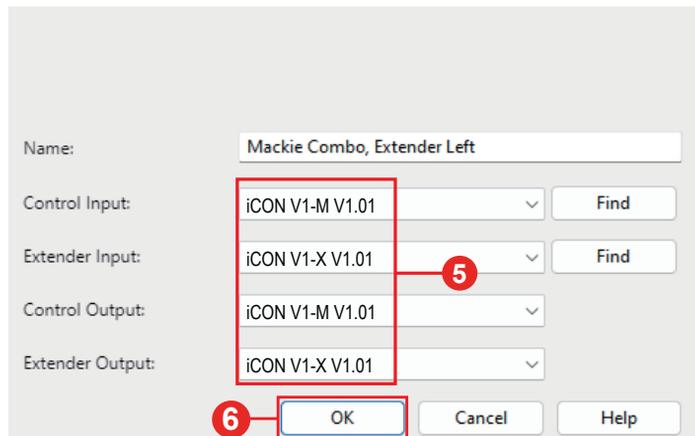
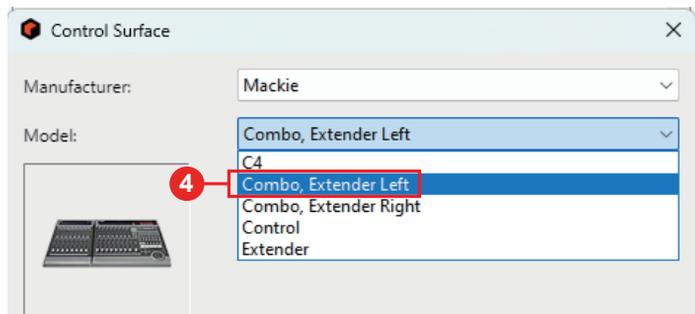
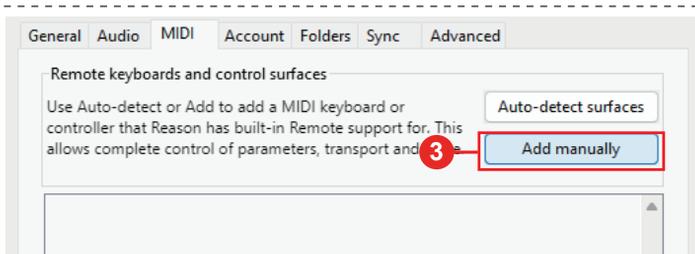
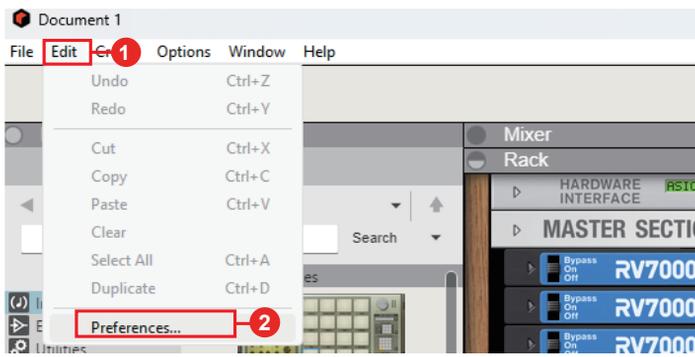


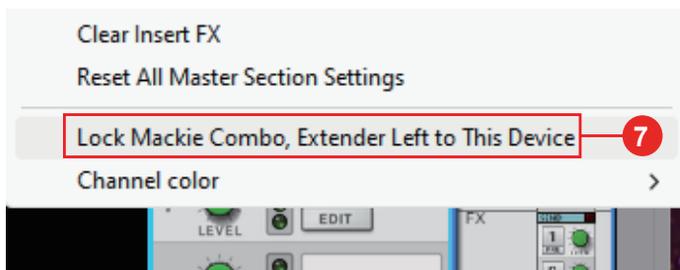
# Reaper



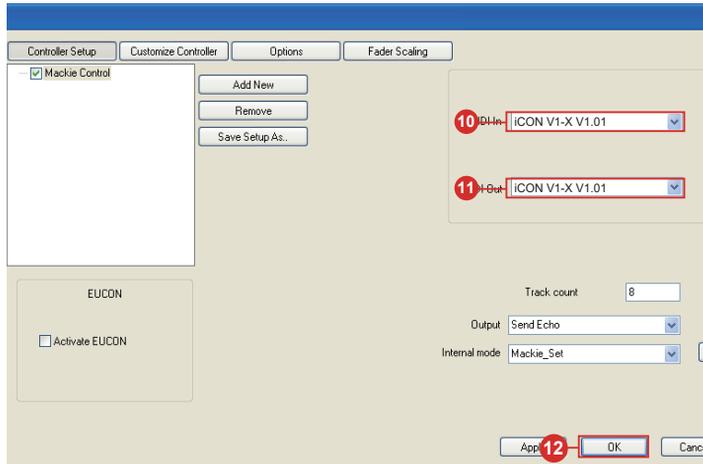
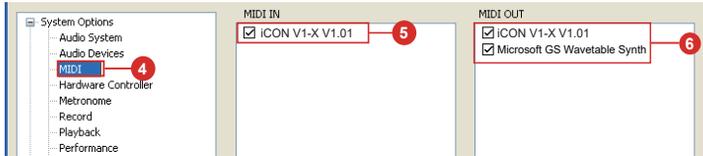
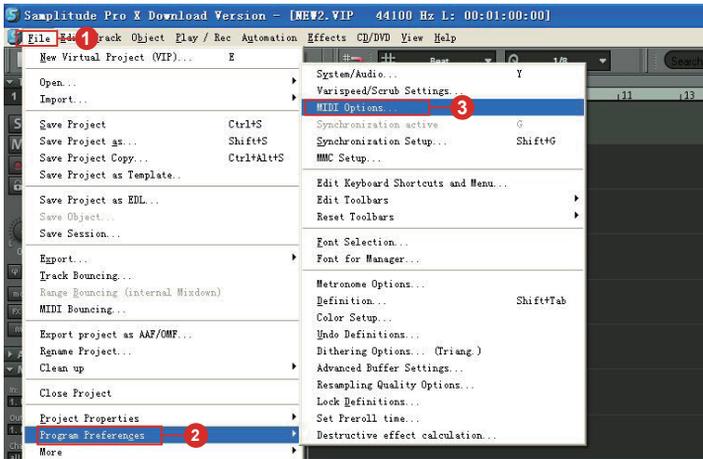


# Reason





# Samplitude



# Studio One

**Step 1:** Studio One File menu. 'Options...' is highlighted with a red box and number 1. The 'Options...' menu item is highlighted with a red box and number 2.

**Step 2:** Options dialog box. The 'External Devices' tab is selected with a red box and number 3. The 'Add...' button is highlighted with a red box and number 4.

**Step 3:** Add Device dialog box. 'Mackie Control' is selected in the Device Model dropdown. The 'Control' device name is highlighted with a red box and number 5. The 'Receive From' and 'Send To' dropdowns are both set to 'iCON V1-M V1.01' and highlighted with a red box and number 6. The 'OK' button is highlighted with a red box and number 7.

**Step 4:** Options dialog box. The 'Mackie Control' device is now listed in the table. The 'Add...' button is highlighted with a red box and number 8.

**Step 5:** Add Device dialog box. 'Mackie Control Extender' is selected in the Device Model dropdown. The 'Control Extender' device name is highlighted with a red box and number 9. The 'Receive From' and 'Send To' dropdowns are both set to 'iCON V1-X V1.01' and highlighted with a red box and number 10. The 'OK' button is highlighted with a red box and number 11.

**Step 6:** Options dialog box. Both 'Mackie Control' and 'Mackie Control Extender' are listed in the table. The 'Placement...' button is highlighted with a red box and number 12.

**Step 7:** Control Surface Placement dialog box. The 'Control' and 'Control Extender' devices are shown in 'Group 1' and 'Group 2'. Red arrows indicate the placement of the devices. The 'Control' device is highlighted with a red box and number 13. The 'Control Extender' device is highlighted with a red box and number 14. The 'Close' button is highlighted with a red box and number 15.

**Step 8:** Options dialog box. The 'Control' and 'Control Extender' devices are now listed in the table with their respective 'Send To' and 'Receive From' settings. The 'OK' button is highlighted with a red box and number 17.

# Tracktion Waveform

**1** Settings

**2** MIDI Devices

MIDI Devices:

Device	Type	Output
2- Focusrite USB MIDI	Enabled	Output
Console 1	Disabled	Output
iCON V1-M V1.01	Enabled	Output
iCON V1-X2 V1.01	Enabled	Output
Microsoft GS Wavetable Synth	Enabled	Output
2- Focusrite USB MIDI	Enabled	Input
Console 1	Disabled	Input
iCON V1-M V1.01	Enabled	Input
iCON V1-X2 V1.01	Enabled	Input

Create New Virtual MIDI Input... Refresh MIDI Device List

Use computer keyboard for MIDI input

Create New Custom Control Surface...

Mackie Control Universal

Extenders: 0

Input Device:

**3**

Settings

Device	Input	Output
Arturia KeyLab	<No Device Selected>	<No Device Selected>
Behringer X Touch Compact	<No Device Selected>	<No Device Selected>
Behringer X Touch Mini	<No Device Selected>	<No Device Selected>
Behringer X Touch One	<No Device Selected>	<No Device Selected>
Frontier Design Group AlphaTrack	<No Device Selected>	<No Device Selected>
Frontier Design Group Transport	<No Device Selected>	<No Device Selected>
iCON QCON Pro G2	<No Device Selected>	<No Device Selected>
iCON QCON Pro X	<No Device Selected>	<No Device Selected>
Komplete Kontrol A	<No Device Selected>	<No Device Selected>
Komplete Kontrol M	<No Device Selected>	<No Device Selected>
Komplete Kontrol S	<No Device Selected>	<No Device Selected>
KORG nanoKONTROL 2	<No Device Selected>	<No Device Selected>
Mackie C4	<No Device Selected>	<No Device Selected>
Mackie Control Universal	iCON V1-M V1.01	iCON V1-M V1.01
Novation Automap Universal	<No Device Selected>	<No Device Selected>
Novation ReMOTE SL	<No Device Selected>	<No Device Selected>
PreSonus Faderport V2	<No Device Selected>	<No Device Selected>

Create New Custom Control Surface...

Mackie Control Universal

Extenders: 1

Main: 2

Input Device 1: iCON V1-M V1.01

Input Device 2: iCON V1-X2 V1.01

Output Device 1: iCON V1-M V1.01

Output Device 2: iCON V1-X2 V1.01

Colour Selection

**4** **5**

Control Surfaces:

Enable MIDI control surface hardware. Control surfaces typically feature things like buttons, knobs, faders, and

# Mac 用 iMap™ のインストール

端末を登録し [www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com) のパーソナルユーザーセンターで、iMAP をダウンロードしてください。

ダウンロード後、ファイルをクリックするとインストールが開始されます。また、iMAP は、以下の製品ページで公開されます [www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)。

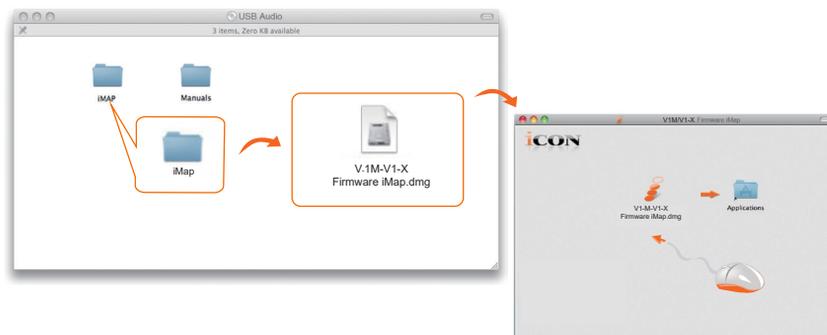
**ヒント：**「V1-M/X iMap」アイコンを「Applications」フォルダに「ドラッグ & ドロップ」すると、Mac のデスクトップに「iMap」ショートカットを作成できます。

**注意：**V1-M と V1-X には 1 つの iMAP があります。「タイトル」をクリックして 2 つのバージョンを切り替えることができます。



## 1. iMap™ ソフトウェア

iMap™ ソフトウェアを起動するには、以下の手順に従ってください。



# Windows で iMap™ ソフトウェアをインストールする

端末を登録し、[www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com) のパーソナルユーザーセンターで、iMAP をダウンロードしてください。iMAP は、ウェブサイトの製品ページでも入手できます [www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)

次の手順に従って、iMap™ ソフトウェアをインストールします。  
ダウンロード

## 1. PC の電源を入れます。

## 2. [www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com) の個人ユーザーページから、Windows ドライバをダウンロードします

ドライバファイルをダウンロードしたら、そのファイルをクリックしてインストールプロセスを開始します。

## 3. 設定ウィザードが表示されます。

セットアップウィザードが表示されるので、ライセンス条項を読んでから「同意する」をクリックしてください。

## 4. インストール場所を選択する

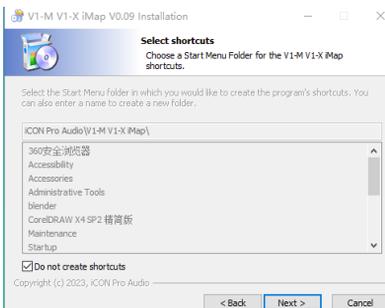
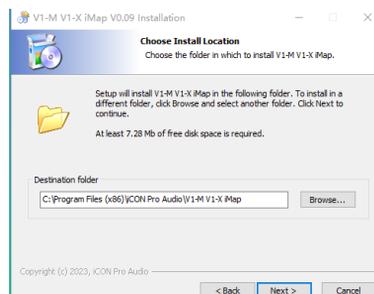
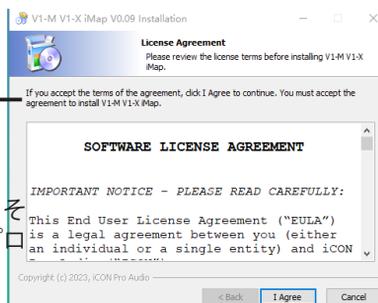
iMap™ のインストール場所を選択するか、デフォルトの場所を使用して [Next] をクリックします。

## 5. ショートカットを選択する

iMap™ ショートカットを作成するスタートメニューフォルダを選択します。次に「Next」をクリックしてください。

## 6. デスクトップにショートカットを作成する

デスクトップに iMap™ のショートカットアイコンを配置しない場合は、チェックボックスをオフにします。そうでない場合は、「Install」をクリックします。



## 7. iMap™ がインストールを開始する

iMap™ のインストールが開始されました。完了するまでお待ちください。次に「Finish」をクリックします。

## 8. インストールが完了しました

「Finish」をクリックして、iMap™ ソフトウェアのインストールを完了します。





## 自分で作った MIDI メッセージを送る

新しい非常に先進的な iMap のインテリジェントな設計により、ユーザーはリアルタイムで変更を加えることができます。プログラミングしているコントローラを変更するには、iMAP の「タイトル」をクリックする必要があります。v1-x のプログラミングを変更するには、ドロップダウンボックスで選択します (下の図のように)。

MCP では「ピッチ」「ノート」「CC」「チャンネル」「メッセージ」、HUI では「値 1」「値 2」「機能」の値を、制御要素に応じて調整することが可能です。結果は瞬時に v1-x に送信されます! ユーザーは iMAP を使用して、フェーダーとロータリーエンコーダの両方に独自の MIDI メッセージをプログラムできます (ボタンは V1-M 本体のタッチスクリーンで表示されます。詳しくはマニュアルを参照してください)。

iMAP 上で、スイッチギアを右クリックして 'reset to default' の値 (現在の DAW モードの初期値) を設定します。

Reset to default  
Remove this DAW

「bitwig」を使用している場合、エンコーダーを右クリックして「restore to default」を選択すると、すべてのスイッチ

ギア (およびタッチスクリーン) が初期値に戻りますので、ご注意ください。

同様に、別の DAW (DAW ボタン 1~3) を選

択すると、すべてのユーザープログラミングが選択された DAW のものに「上書き」されます。



## バーチャルインストゥルメントの使用

DAW コントローラーを使って Virtual インストゥルメントのパラメーターを操作したいというユーザーもいます。最初から、これは完全に DAW であり、Virtual インストゥルメントに依存することに注意する必要があります。一部のバーチャル楽器には、機能が制限されています(ない場合もあります)。

プログラムできる CC 値は様々です。例えば、CC1 (モジュレーション) と CC11 (エクスプレッション) は最もよく使われるパラメータです。

「ビブラート」には CC 値がなく、そのパラメータが制御したい仮想楽器の機能であれば、MIDI learn でマッピングできる可能性があることに注意してください。MIDI の学習方法については、お使いの DAW のマニュアルを参照してください。

なお、バーチャルインストゥルメントによっては、汎用的な外部コントローラーからの通信を受信する機能が制限されているものがあります。

V1-M のジョグホイールは、特にプログラムすることなくプラグイン、eq、インストゥルメントのパラメーターコントローラーとして使用できます。Focus ボタンを押して問題のあるパラメータにマウスをかざしたらいいです。これは潜在的に非常に便利で強力な機能で、非常にシンプルで使いやすいです！間違いなく覚えておくべきものです！



# iMap™ のその他の機能



## 1. 「ファイルの保存」ボタン

このボタンをクリックして、V1-Xの現在の設定を保存します。ファイルは「.imap」ファイルです。

## 2. 「ファイルの読み込み」ボタン

このボタンをクリックして、V1-X用に以前に保存した「.imap」設定ファイルをロードします。

## 3. 「ファームウェアアップグレード」ボタン

このボタンをクリックして、V1-Xのファームウェアアップグレードウィンドウに入ります。ファームウェアのアップグレード手順については P.36 を参照してください。

# ファームウェアアップグレード

## V1-X 機能ファームウェアアップロードプログラム

**重要注意事項:** V1-M と v1-x を切り替えるには、iMAP の「タイトル」をクリックします。正しいデバイスのファームウェアをアップグレードしていることを常に確認してください。

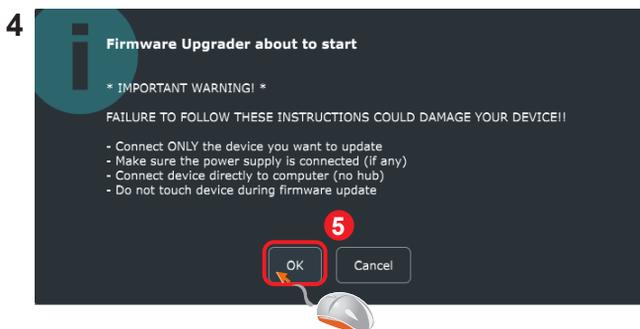


**警告:** ファームウェアアップロードプロセスは、ファイルのアップロード中に中断しないで完了する必要があります。中断すると、ファームウェアは再書き込みできません。

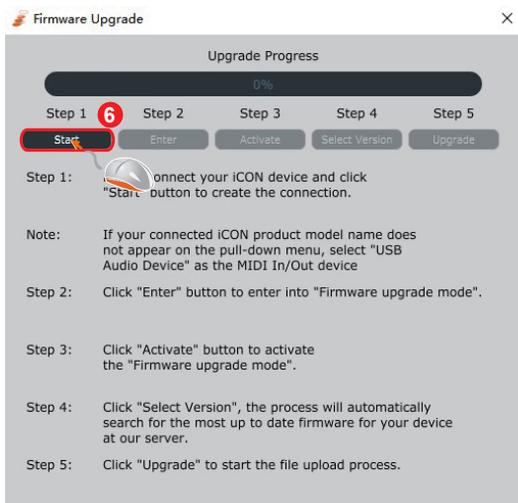
**ステップ 1:** USB C 接続を使用して V1-X を接続してください。最新の iMAP がウェブサイトからダウンロードされ、インストールされていることを確認します（お使いの iMAP が最新であることを確認してください！）。iMAP を起動します。



**ステップ 2:** 注意書きを読みます。

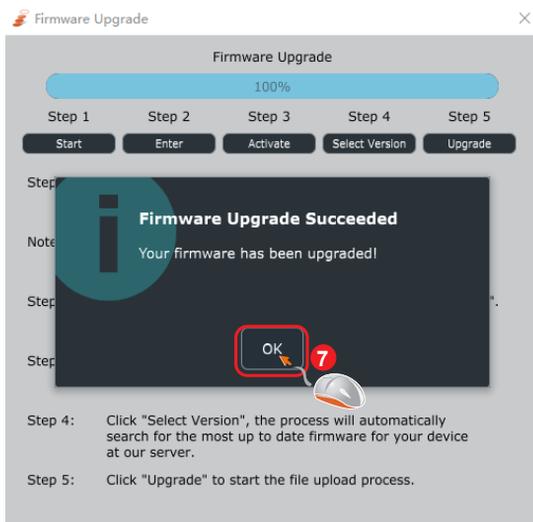


### ステップ 3: 「開始」 ボタンをクリックします。

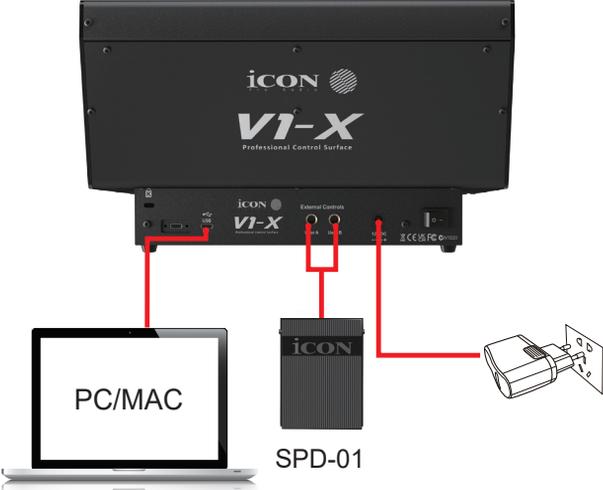


### ステップ 4: ファームウェアのアップグレード処理が完了するのを待ちます。

### ステップ 5: ファームウェアのアップデートが完了したら、「ok」を押してください。



# ハードウェアの接続



## さらに拡張します。

V1-Mは、現段階で世界で最も先進的な MIDI コントローラーの1つであり、今後数年の間に役立つサービスを提供するでしょう。

これで、v1-x でシステムを 8 個のフェーダーから 16 個以上 (DAW に依存) に拡張しました。

しかし、v1-x は一部の DAW で 16 チャンネルを超えて拡張するために必要なすべての機能を提供します！

8 つの 12 ビットフェーダー、チャンネルごとに 4 つの照明付きボタン、8 つの無限のスムーズなアクションロータリーエンコーダ、正確な led メーターと美しくデザインされたメーターブリッジと 2 インチ TFT ディスプレイを備えた v1-x は、ミキシングやレコーディング体験を向上させます。



# V1-X エクステンダーユニットの取り付け

各 V1-X ユニットの両側のポートに収まる 2 つの磁気ペグが装備されています。

ペグの反対側は、v1-x ユニットの側面のポートに挿入できます。このように、2 つのユニットは、磁気 peg で接続されて、ぴったりと並んでいます。

図を下に示します。



## 製品仕様

接続端子:	コンピューター出力	USB C connector
電源供給:		12V/2.5A DC
消費電力:		2A or less
重量:		3.615kg
寸法:		309mmx384.5mmx178mm

# 修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター (<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>) でご確認ください

1. FAQ (よくあるご質問)
2. ダウンロード
3. 詳細情報
4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンライン ACS (自動カスタマーサポート) でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。  
<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us> にアクセスしてサインインし、チケットをお送りください。ただし、「Submit a ticket」をクリックするとサインインの必要はありません。

照会チケットをお送いただくと、弊社サポートチームが、ICON ProAudio デバイスの問題をでき限り早く解決できるようにお手伝いいたします。

不良品を修理・交換のために返送する場合：

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください：

北米にお住まいの場合は、  
製品をこちらまで返送してください：

**North America**  
**Mixware, LLC – U.S. Distributor**  
**3086 W. POST RD.**  
**LAS VEGAS NV 89118**  
**Tel.: (818) 578 4030**  
**Contact: [www.mixware.net/help](http://www.mixware.net/help)**

香港にお住まいの場合は、  
製品をこちらまで返送してください：

**ASIA OFFICE:**  
**Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,**  
**No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street,**  
**Fotan,**  
**Sha Tin, N.T., Hong Kong.**  
**Tel: (852) 2398 2286**  
**Fax: (852) 2789 3947**  
**Email: [info.asia@icon-global.com](mailto:info.asia@icon-global.com)**

ヨーロッパにお住まいの場合は、  
製品をこちらまで返送してください：

**Sound Service**  
**GmbH European**  
**Headquarter Moriz-Seeler-Straße**  
**3D-12489 Berlin**  
**Telephone: +49 (0)30 707 130-0**  
**Fax: +49 (0)30 707 130-189**  
**E-Mail: [info@sound-service.eu](mailto:info@sound-service.eu)**

その他更新情報は、弊社ウェブサイト ([www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)) をご覧ください。



天猫官方旗舰店



天猫店iconproaudio旗舰店

抖音号



抖音iCON艾肯

哔哩哔哩



B站iCONProAudio

微信公众号



微信号iCON-PRO

官方售后QQ



4006311312.114.qq.com

中国地区用户

Twitter



[www.twitter.com/iconproaudio](http://www.twitter.com/iconproaudio)

Instagram



[www.instagram.com/iconproaudio](http://www.instagram.com/iconproaudio)

Facebook



[www.facebook.com/iconproaudio](http://www.facebook.com/iconproaudio)

Youtube



[www.youtube.com/iconproaudio](http://www.youtube.com/iconproaudio)

Website



[www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)

Support



[support.iconproaudio.com](http://support.iconproaudio.com)

Dashboard



[iconproaudio.com/dashboard/](http://iconproaudio.com/dashboard/)

[www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)